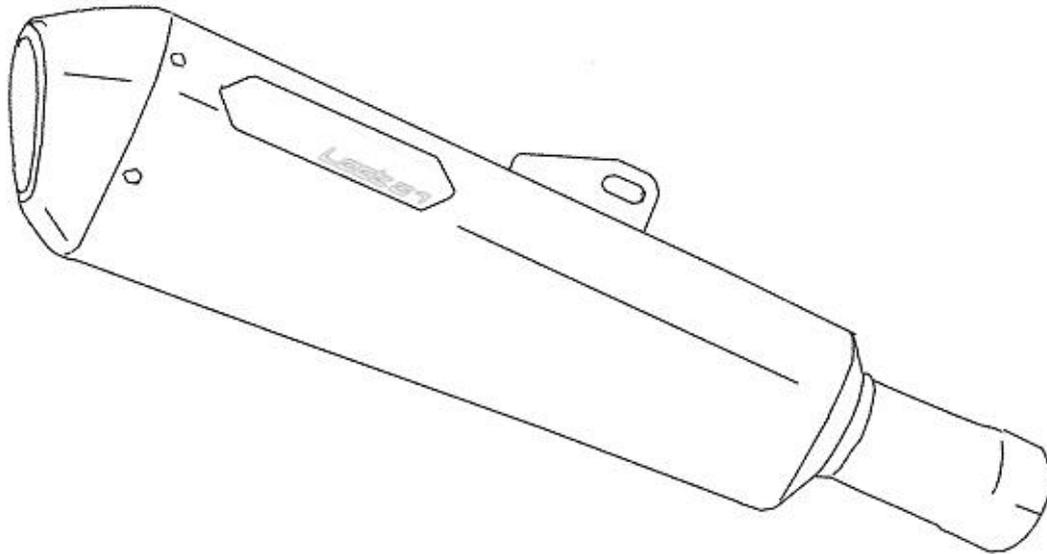


この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
取り付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行って下さい。作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。  
このマフラーは、ZRX1200DAEG 09-(EBL-ZRT20D)用となっております。その他の機種(車両型式・年式)には取り付けられません(車検を受けられません)のでご注意下さい。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。

図1



### 純正サイレンサーの取り外し

純正サイレンサーを取り外します。(マフラー・その他純正パーツの脱着方法に関してはメーカー発行のサービスマニュアルの指示に従ってください。)サイレンサー取り外しの際の純正ボルト・ナット類はロックオンマフラーを取り付けるときに使用しますので無くさない様ご注意下さい。

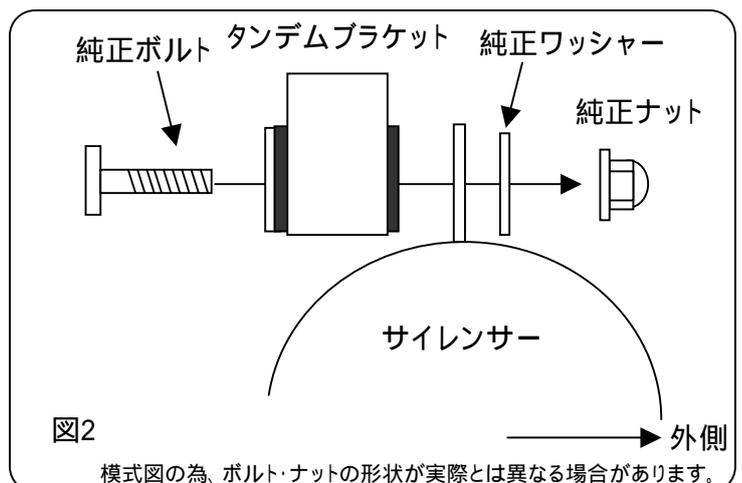
### パーツリスト(梱包内容)

図番	パーツ名	数量
	サイレンサー	1

### ロックオンマフラーの取り付け

テールパイプにサイレンサーを奥まで差し込み、純正ボルト/ワッシャー/ナットで純正マフラーと同じ位置に仮止めします(図2参照)  
(ガスケットはサイレンサー脱着毎の交換を推奨)  
次に純正のサイレンサーバンドを用いて差込み部を締め付けます。

車体各部(特にリアショック等)との干渉がない事を確認し、必要があれば調整を行いながら仮止めたボルトナットを本締めします。締め込み具合により車体とのクリアランスが変化するため、注意しながら作業を行って下さい。



### 最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認し、必要があれば修正を行って下さい。(サイレンサーのエンブレム部にビニールシートが張り付けてある場合は事前に剥がして下さい。)

手の脂等が残ったまま熱が加わると、焼けムラの原因になります。事前に十分脱脂を行って下さい。サイレンサー表面はケミカル類やコンパウンド等で磨かないで下さい。磨き跡が残る場合があります。

## セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態で性能を発揮するよう設計されておりますので、基本的にセッティングは不要です。(突き詰めてセッティングを行う事でより良い結果を得られる場合はございます)

### 注意！

走行中・走行後のマフラーは非常に高温になります。火傷や衣類/靴等の損傷には十分お気をつけ下さい。又、この製品は排気ガスを浄化する目的でマフラー内に触媒(キャタライザー)を使用しております。触媒を使用していない従来のマフラーよりも更に温度が高くなりますので、より一層の注意をお願いします。

グラスウール(消音材)は消耗品です。主な消耗の例としては、「排気圧によるグラスウールの飛散」、「カーボン(スス)の堆積による目詰まり」、「水分を含む事による消音能力の低下」、等があり、消耗の進み方は走り方や環境によって大幅に変わります。グラスウールの飛散はほぼ使用期間に比例しますが、その他のケースは使用状況によってはごく短期間で発生する場合があります。主な原因は吸気系/点火系の不具合や乗り方によるカブリ症状から起こるカーボンの堆積、雨水や燃焼時の水分が排出されずにいる事から起こる水分の滞留などです。カーボンの発生は定期的なメンテナンスやカブラせない乗り方を意識する事で防ぐ事ができ、サイレンサー内に一時的に溜まった水分は、高回転域を使用する事で蒸発 排出されますので、定期的に適度に回して乗る事で解消する事ができます。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)

グラスウールが消耗した状態での走行は周囲の迷惑になるだけでなく、マフラー及び車両の故障に繋がる場合がありますので、音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際はサイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。

走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。

シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

本製品はJMCAの認定を受け、排気ガス試験成績証明書を付属しております。車検時に必要となる大切な書類ですので無くさないように注意して管理してください。同証明書の再発行は有償となります。詳しくはノジマホームページ等をご覧ください。

転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。

その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

マフラーに付属の排ガス試験成績証明書は車検の際などに必要となる重要な書類です。車検証等と一緒に大切に保管し、他の方にマフラー及び車両を譲られる際は必ずお渡し下さい。紛失・汚損時の再発行は有償となります。車両全体の画像、サイレンサーのJMCAプレートの画像、車検証のコピー(画像の場合は判読可能なものに限る)をメール又は郵送にて下記ノジマエンジニアリング宛にお送り下さい。再発行手数料¥3,000(送料・代引き手数料込み)、代金引換便にて発送させていただきます。(代金引換の送り状をもって領収書に代えさせていただきます。領収書は別途発行致しませんので予めご了承下さい)

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL:059-378-3505 FAX:059-370-7811

WEB: <http://www.nojima-japan.co.jp> MAIL: [info@nojima-japan.co.jp](mailto:info@nojima-japan.co.jp)

090216